

# 報告1-1

地域と市区町村、都道府県が方向性と力を合わせて  
経年的に取り組む

平成29年 6月22日 第1回  
認知症地域支援体制推進全国合同セミナー  
認知症介護研究・研修東京センター

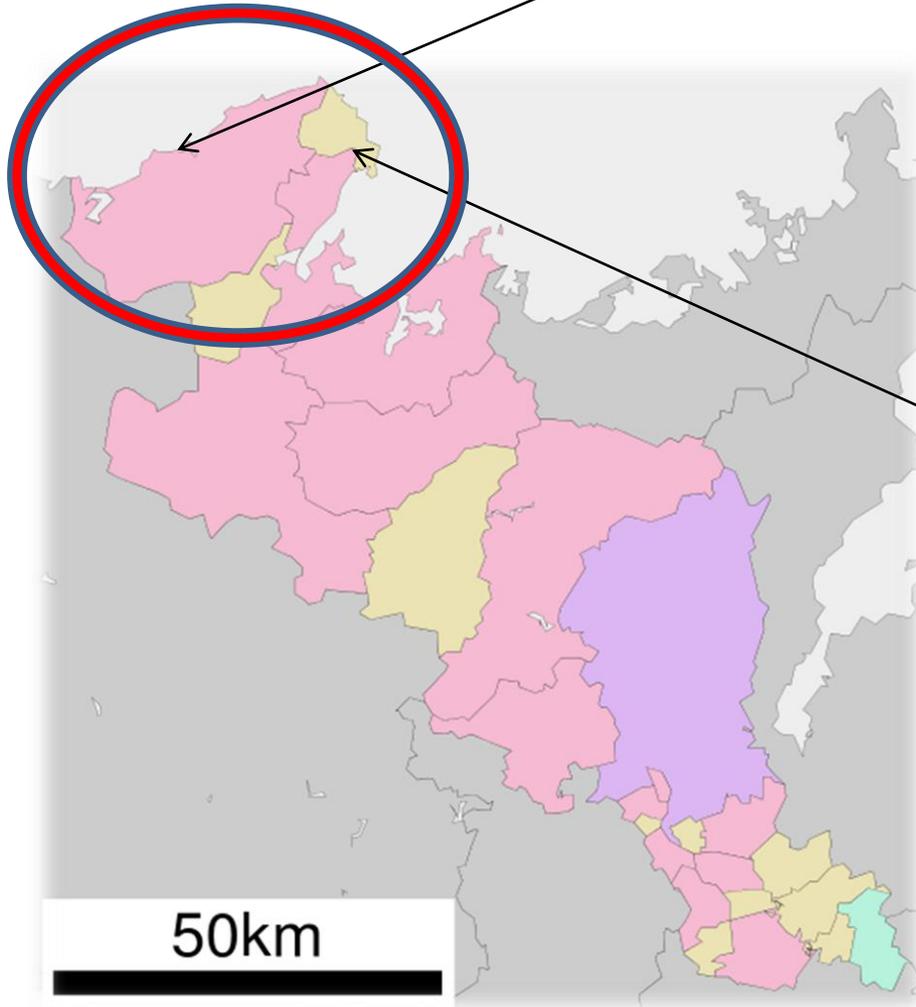


**本人の意志が尊重され、住み慣れた地域で  
暮らし続けられる社会を目指して**

**～京都府と丹後保健所の取組～**

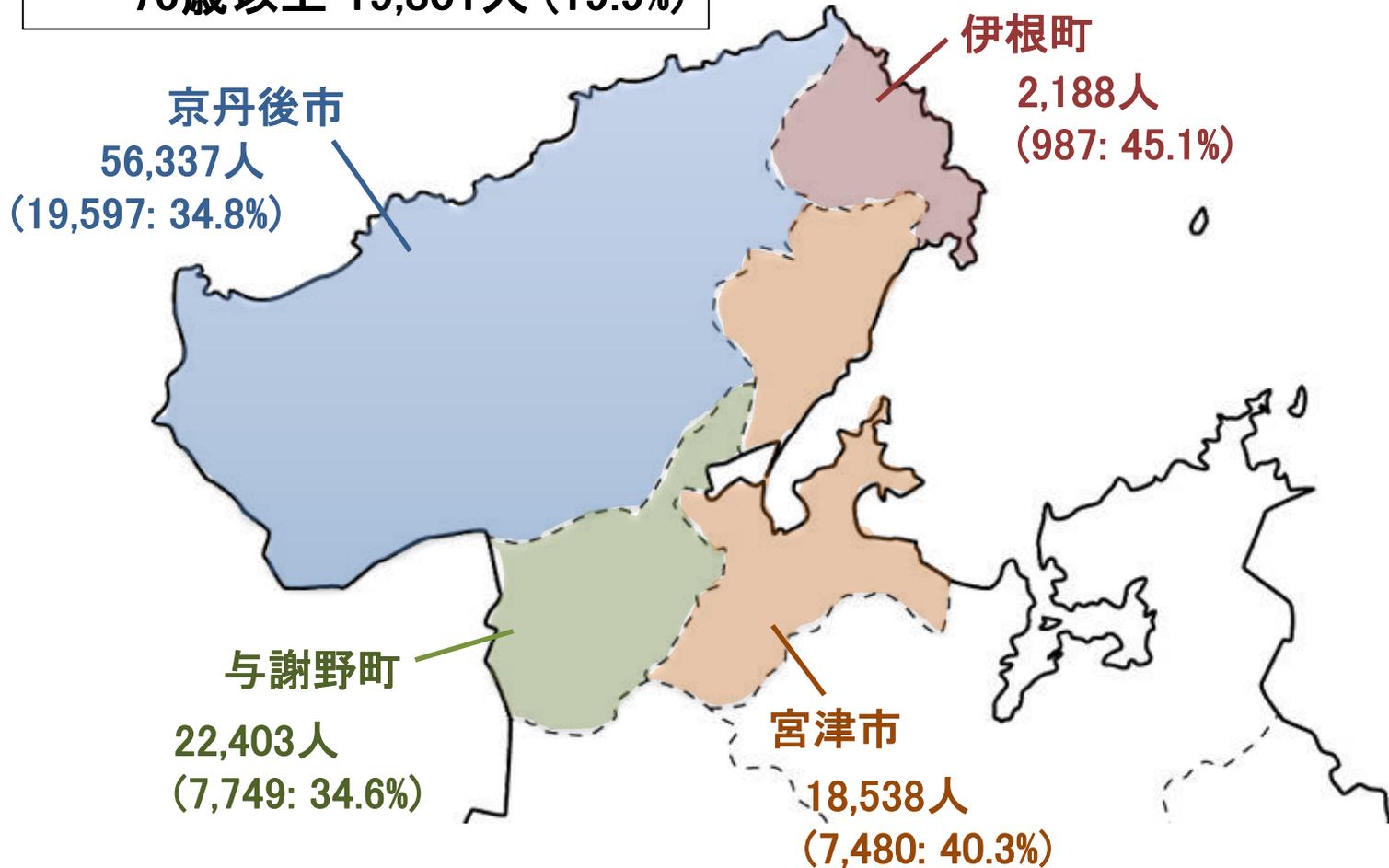
**京都府丹後保健所 企画調整室  
川口 秀子**

# 丹後はこんなところです！



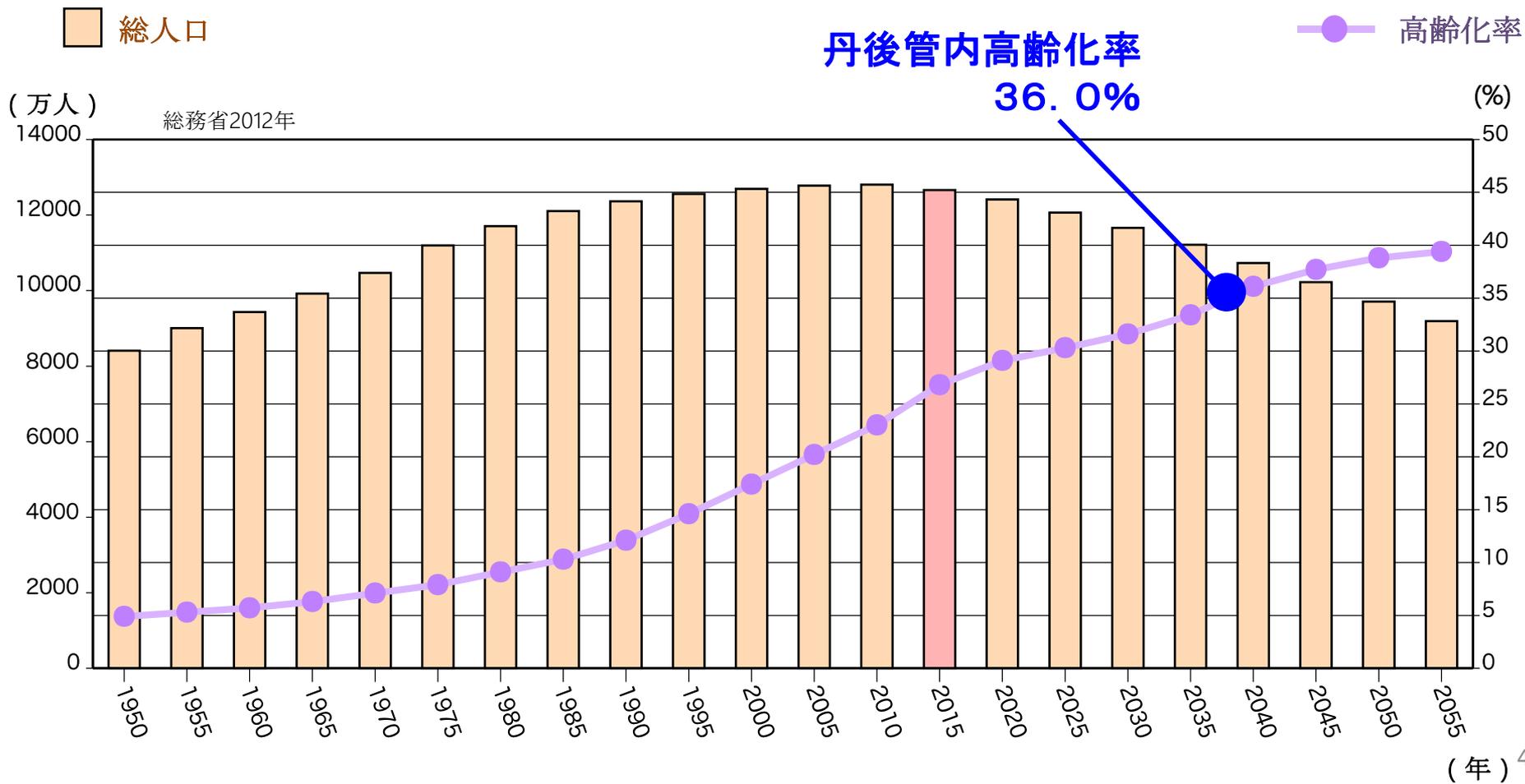
# 丹後地域の特徴【高齢化先進地域】

丹後地域総人口 99,466人  
65歳以上 35,813人 (36.0%)  
75歳以上 19,801人 (19.9%)



# 京都府丹後地域は日本を20-40年先取りしている！

日本全国の高齢化率 26.3% (2015年)  
京都府の高齢化率 27.1% (2015年)



京都地域包括ケア  
推進機構ホーム  
ページからダウン  
ロードできます！

# 京都式 オレンジプラン

京都認知症総合対策推進計画

25回のプロジェクト  
会議を重ねて策定

平成25年9月作成



認知症総合対策推進プロジェクト  
京都地域包括ケア推進機構

# 京都式オレンジプランの特徴

---

- 1 全国に先駆けて、京都府の地域実情に即したプランとして策定
- 2 府、市町村だけでなく、あらゆる関係団体や府民が行動すべき取組を明示
- 3 予防・初期～ターミナル期までの広範・多岐にわたる認知症の課題全体を網羅
- 4 達成目標として認知症当時者からの「10のアイメッセージ」を導入



# 京都式オレンジプランの特徴

## ★認知症当時者からの「10のアイメッセージ」 の意味

- ・医療・介護・福祉すべての団体の総意としてまとめられた
- ・「京都の認知症施策を、認知症の本人や家族も参加して評価し、それを達成度の指標とすること」を京都府が宣言することを意味する

（H25.10.4京都新聞 京都府立洛南病院 森 俊夫副院長）

# 丹後保健所の取り組みの経緯

平成20年度

京丹後市が「認知症地域支援対策構築事業」のモデル地域に指定  
「知る」「つながる」「広がる」、そして見守り・支えあえる地域づくり  
をビジョンとして、認知症の理解を広げることを中心に実施

【保健所】

- ・認知症ケアネットワーク研修
- ・センター方式研修会
- ・医療とケアの推進懇談会

平成21～24年

目標「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」

- ・認知症対策検討会（包括支援センターとの会議）
- ・認知症ケアネットワーク研修（関係機関へ研修）
- ・市町との協働でキャラバンメイト養成研修（市町後方支援）
- ・テレビ会議システムによる老年精神医学セミナー

平成25年9月  
「京都式オレンジプラン」

5カ年計画に向けて

- 状態に応じた適切なサービス提供の流れを見える化（市町の認知症ケアパス・初期集中支援チームの設置支援）
- 医療と介護が一体となり、全ての「認知症の人の生活」を支援する体制の構築

市町や関係機関と協働して認知症になっても安心して生活できる地域支援体制の充実を目指して事業を展開

認知症対策

普及・啓発

早期発見・早期対応

地域で支える仕組みづくり

関係従事者へ資質向上

地域連携体制の強化

京都地域包括ケア  
推進機構

協働

連携

連携

関係機関

○市町村

- 認知症疾患医療センターやもの忘れ外来
- 医師会や各職能団体
- 介護関係機関
- 地域リハビリテーション支援センター等

大学等の研究

# 28年度の丹後保健所の取組内容

	主 な 内 容
普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症夏のセミナー（府民向け講演会）</li> <li>○府民講座、市民講座の取り組み支援 ※ 市町（行政）や医師会等との協働</li> <li>○オレンジロードつなげ隊による啓発活動（25回 2,620名）</li> </ul>
早期発見・ 早期対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初期集中支援チームの設置支援</li> <li>○認知症カフェの担当者研修会</li> <li>○若年性認知症「本人・家族交流会」「事例検討会」の開催</li> </ul>
地域で支える しくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市町での徘徊搜索模擬訓練の取り組み支援</li> <li>○警察・市町参加の圏域SOSネットワーク連絡会の開催</li> </ul>
関係従事者 への研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ケアマネージャーの認知症対応力向上研修</li> <li>○かかりつけ医のうつ対応力向上研修</li> <li>○インターネットTV会議システムによる認知症セミナー</li> </ul>
地域連携体制 強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町、認知症疾患医療センター参加のもとに連絡会議の開催</li> <li>○市町の地域ケア会議の支援</li> </ul>

# オレンジロードつなげ隊とは

## 地域で認知症の支援を行っている人を組織化した認知症の普及啓発の企画・実働部隊

### 構成メンバー

キャラバンメイト、介護事業所職員、地域で活動する人（自治会、民生委員、PTAなど）等

### 活動内容

#### ●地域イベントを活用した啓発

（ex.地域イベントやスポーツ大会、健康福祉関係のイベント等）

#### ●人が集まる場所での啓発

（ex.スーパーやショッピングモール、図書館等の公共機関）

#### ●地域団体・地域資源と連携した啓発

（ex. 老人会、自治会、学校、サポート企業等と連携した取組）

#### ●府民講座等の開催による啓発

#### ●その他地域特性に応じた啓発

認知症が誰もが発症する可能性のある「一般的な病気」であるという疾病観の普及

セルフチェックシートを活用した早期発見の普及

コールセンターや疾患医療センター等の相談窓口に関する情報提供

その他認知症に関する情報発信

様々な角度から戦略的に  
認知症への正しい理解の普及啓発を

# 圏域別企画会議（戦略会議）

## ●つなげ隊員

- ・圏域別企画会議への参画
- ・普及啓発活動の実施・協力

どこで  
誰に  
どんなふうに

## ●市町村

- ・圏域別企画会議への参画
- ・普及啓発活動の企画立案及び活動の

補佐

## ●保健所（推進ネット含む）

- ・普及啓発活動の広報協力
- ・圏域での本事業の統括（企画立案、予算執行、情報共有）
- ・圏域別企画会議の招集及び圏域における普及啓発活動の

の

- 企画立案・実施調整
- ・圏域ごとの普及啓発活動
- ・つなげ隊員による普及啓発活動の調整・支援

## ●本庁（高齢者支援課）の広報協力

- 本事業の統括（企画立案、予算執行、情報共有）
- 養成研修・フォローアップ研修（意見交流会）の実施
- つなげ隊員の登録及び名簿の管理

普及啓発活動の地域展開





# 若年性認知症対策

○認知症疾患医療センターや専門外来と協力して本人、家族を掌握し、つながりや家族負担の軽減を目的とした交流相談会の実施

○本人ミーティングの開催と自主的活動に向けた支援

○本人、家族に関わる医療、介護、福祉さらには企業が参画した事例検討会の実施

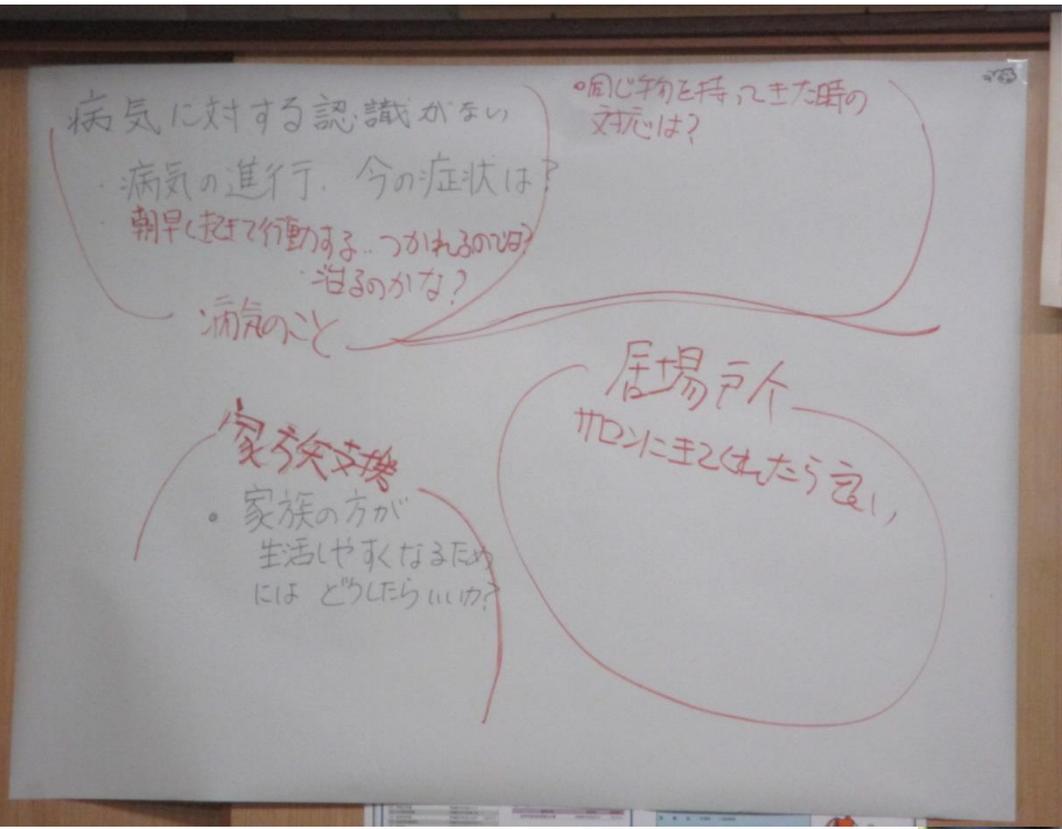
○認知症にかかる研修やイベント、アルツハイマー一月間における普及・啓発

# 金剛童子山に登りませんか



- **標高613m 弥栄町のシンボリックな山**
- **山腹の味土野地区は、細川ガラシャ夫人の隠棲地として知られ「女城跡」が残っています。頂上からは日本海も見える大展望パノラマが広がります。**
- **日 時 平成29年5月14日(日) 10時**
- **持ち物 飲み物、お弁当、敷物**
- **集 合 弥栄町野間 野中公民館横**





# 勉強会兼事例検討会

# 丹後保健所の取組を円滑にすすめるために

## 1 市町を窓口とした関係機関との連携

- 2市2町の地域包括支援センターとの定期的な会議（1回/月）  
市町、地域包括支援センター、認知症疾患医療センターの参加
- 各市町の地域ケア会議や連絡会、ケアマネ会議には積極的に参加し、現場の状況を確認

## 2 広域的、または医療や福祉との接点を持つ保健所の強み機能の発揮

- 医療と介護の連携促進
- 医師会、薬剤師会等の関係機関と協働した事業の展開
- 大学等の研究事業への協力

## ※3 大学等の研究事業の協力

- 「丹後生き生き長寿コホート研究」  
京都府立医科大学附属北部医療センター
- 「JST認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発」  
京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学

# 丹後保健所の取組のイメージ



# 丹後保健所の役割と今後の課題

---

- 地域の住民、関係者への啓発・普及・発信
- 早期発見・早期対応の体制の推進
- 各市町の中でのネットワークの構築（医療と介護関係者の顔の見える関係づくり・多職種連携）の支援
- 円滑な連携の潤滑油（つなぎ）役、歯車役

認知症の人が安心して生活できる丹後地域を目標に、マネジメント、地域づくりをすすめます。